

鳥取市地域振興未来会議設置要綱

(設置)

第1条 地域住民が主体となって地域課題の解決に向けて議論するとともに、持続可能な地域共生社会のまちづくりを推進するため、地域振興未来会議（以下「未来会議」という。）を設置する。

(名称及び対象区域)

第2条 未来会議の名称及びその対象区域は、次のとおりとする。

名 称	対 象 区 域
国府地域振興未来会議	国府町総合支所管内
福部地域振興未来会議	福部町総合支所管内
河原地域振興未来会議	河原町総合支所管内
用瀬地域振興未来会議	用瀬町総合支所管内
佐治地域振興未来会議	佐治町総合支所管内
気高地域振興未来会議	気高町総合支所管内
鹿野地域振興未来会議	鹿野町総合支所管内
青谷地域振興未来会議	青谷町総合支所管内

(所掌事務)

第3条 未来会議の事務は次のとおりとする。

- (1) 地域特有の課題や地域振興について調査・研究を行い、解決策について検討すること。
- (2) 市に対して必要に応じ地域振興に関する提案を行うこと。
- (3) 地域未来プランの進捗管理を行うこと。

(組織)

第4条 未来会議は、それぞれ委員12人以内で組織する。

- 2 委員は、対象区域に住所を有する者又は勤務している者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第6条 未来会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、未来会議を代表し、会務を総括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を行う。

(会議)

第7条 未来会議の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

4 会議は、公開とする。ただし、議長が必要と認める場合は、会議に諮ったうえで公開しないことができる。

(委員以外の者の会議への出席等)

第8条 未来会議は、必要があると認めるときは、当該未来会議の委員以外の者に対し、会議への出席を求め、必要な説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(提案の尊重)

第9条 市長は、未来会議の提案を尊重し、対象区域の振興に努めるものとする。

(庶務)

第10条 未来会議の庶務は、各総合支所の地域振興課において処理する。

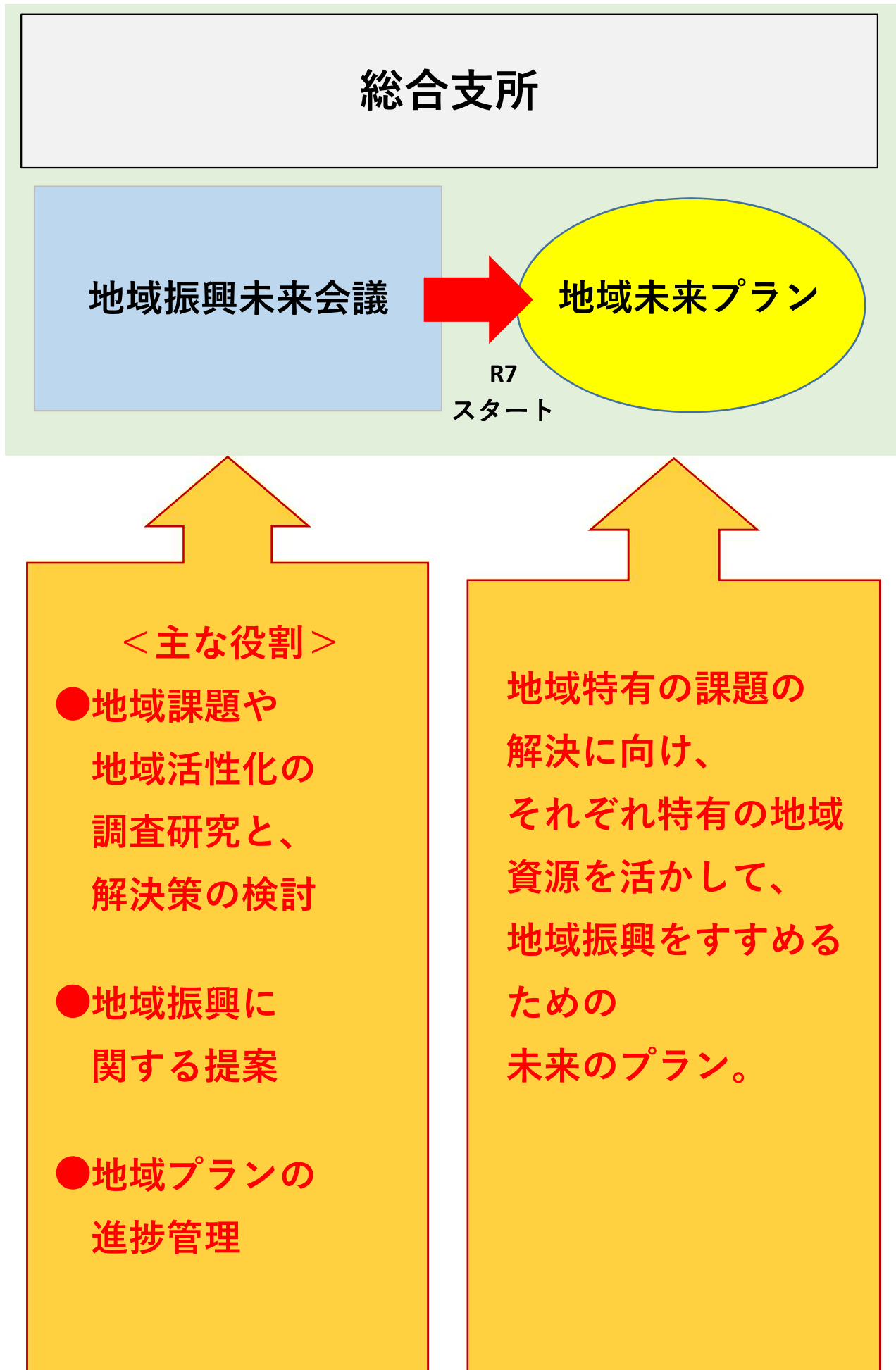
(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、未来会議の運営に関し必要な事項は、市民生活部長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。



●市からの政策に対して提言をする会議だとは思いますが、一つぐらいは自分たちで題材を作って、何か提案をしていく機会があってもいいなと思います。言われたことの善し悪しだけでなく、何度もはちょっと無理だと思うんですが、一つぐらいは自分たちで出して議論する、そんな会だったらいいんじゃないかなと思います。

●人口減少っていうのはもう災害のようなものと認識しています。人口減少に対応するためにどうしたらいいかというのは、みんなで助け合う事が基本なんだと思うんですけど、でも今コロナの影響で、もう各家庭とか個人がとりあえず優先になってお互いに助け合っている風土がもう完全に消えちゃってます。そうじゃなくお互いに助け合っているような方向に戻していかないと、それが人口増加になるとは限らないですけど、そうしていかないと、この地域活性化はないのではと思います。

●プランの指す将来像「いつまでも暮らしたい住んでみたい、歴史に彩られた活気と賑わいのあるあふれるまち青谷町」本当にいいスローガンだと思います。区長会でいろんな話を聞くと、町内会の加入率が 7 割 6 割と聞いたりしますので、本当にコミュニティが本当に厳しくなっている。我々が住んでいるこの町内のコミュニティをどうしていくのかっていうのが、本当に大きなこれからの課題です。住んでいて本当にいいまちづくり、そういうふうな話し合いが将来していただければ嬉しいです。

●会議の中で、皆さんからすごく活発な多くの意見をいただいたことに対してですね、本当に嬉しいなと思っていて、次の会議もぜひとも、本当にざっくばらんっていう言い方は失礼だと思うが、皆が気兼ねなく、本当に話し合いができる、そういう会議していただけたらと思います。

●委員を長年やって気づくことが多くなったのですが、いつも言うんですけど、みんなが参加できるようなまちがいいな、青谷に住んでよかったなっていう、和気あいあいと話をしながら、問題点ばかりでなく、そこを生かしながらいいまちにしようって言えるようなまちに出来たらいいと思いますので、未来会議の皆さんは、いろいろ実践される方も多いようなので、そういう地域になるように、一般市民にも広げていただきながら、情報をいただきたいと思います。

●私あるとき同じ職場の方から、自分たちがやることっていうのは 5 年 10 年先を見据えて、それに携わる人材を育てることが一番急務だとか言われたことがあったんで、その方に惚れて公民館の仕事を何年も続けたんです。全くその通りで、この会議は退きますけど、何かこんなことどうかなっていうことがありましたら、また一緒にボランティアでも参加できるような格好がいいんじゃないかなって思います。

いつまでも暮らしたい住みよい、住んでみたい青谷町っていう目標の実現はとても大変なことがあると思うんですけど、それこそ 5 年 10 年先にそれに一步でも近づくような青谷町になれば素晴らしいんじゃないかと思いますので、みんなで協力してやっていけたらと思っています。

●いつまでも青谷で暮らしたい・住みたいって思うのに、大事なのっていうのは、やっぱりそこに住む人が一番大事なのかなと思って、ここで出会えたそういう人と人との繋がりがっているのをこれから先も大事にしていきたいなというふうに思います。

●高齢者に優しいまちであってほしいって委員さんが言った言葉がずっと心に残っていて、いずれはどんな人でも子供でも大人になっていくわけで、子供たちを育てやすい街でもあってほしいけど、高齢者になっても住みよいまちを目指していきたいなと今は思っているところです。

4 月からよろこ館運営するにあたって、そういうお年寄りにも喜んでもらえるというか、元気な町に住んで、そして町でお金が稼げる、ずっとそれが目標だったんですけど、いよいよ実践のときが来たかなと思ってます。

●ずっと人口減少という話は出てますが、流れは止められないかなと思ってます。
ある意味青谷町は人口減少最先端の地域、なので、いろいろ議論するにしても前例がないからできません、ではなくて、前例ないからこそ第1号じゃなきゃ、他の地域はどんどん人口減少で同じような問題になっていくにあたって、モデルにされるような地域になることができるればいいのかなと思います。

●今後皆さんより人口減少とか公共交通の関係とかいろんな問題があるんですけど、やっぱりみんなが、予算がなかなかつかない現状なんで、だから知恵を出して今後ともいい青谷町、住み続けたい青谷町にしていきたいと思います。